

保証書 (必ずご記入下さい)	
スマートルームミラー前後ドラレコ付	
お客様	お名前 様
	ご住所 〒
	電話番号
お買い上げ日	取扱販売店名、捺印、住所、電話番号
年 月 日	
保証期間(お買い上げ日より)	印
1年間	

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。
・修理は、本保証書を添えてG-FACTORYへご相談下さい。
・お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容をご利用させて頂く場合がございますので、予めご了承下さい。

- <無料修理規定>
1. 本保証書に提示の保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店にて無料修理をさせて頂きます。
 2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼下さい。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示下さい。
 3. 次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - (1) 本保証書のご提示のない場合
 - (2) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理、損傷、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
 - (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、刃水などによる故障及び損傷。
 - (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、盗害、雷害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (7) 保証期間中であってもお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 4. 取付、取外しに関する作業工賃や発送に関する送料、代車手配等に発生する費用は一切受け付けておりませんので予めご了承ください。
 5. 車両の不具合又は著しく車両価値低下による不具合は保証対象外となります。
 6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
 7. 本保証書は、再発行しません。(大切に保管して下さい)

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)及びそれ以外の事業者等に等しくお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

※販売店様は確実に本書をお客様にお渡しください。

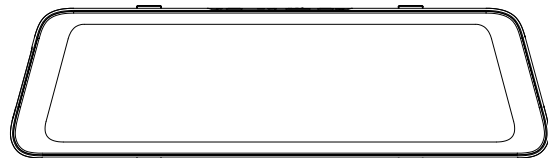
個人情報のお取り扱い

当社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、保管業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供いたしません。お問い合わせは、ご相談された窓口にて連絡ください。

SMART ROOM MIRROR

S1 Premium (交換タイプ)
H1 Premium (被せるタイプ)

取扱説明書



このたびは、スマートルームミラーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。
- 本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめて、大切に保管してください。

G-FACTORY
ORIGINAL

G-FACTORY WEBSHOP事業部
〒448-0842 愛知県刈谷市東陽町2丁目1番地 2F
TEL:0566-70-8018

目次

はじめに

■安全上のご注意(必ずお守りください)	1
■使用上のご注意(必ずお守りください)	4
■商品構成一覧表	6
■各部の名称と働き	8

準備

■取り付けについて	10
■microSDカードについて	16
■電源オン/オフについて	19

操作方法

■録画について	20
■動画記録モード	22
■再生モード	24
■走行モード	27
■車線逸脱防止支援システムについて	28
■駐車監視録画について	29
■設定メニュー画面	30
■PCビューワーについて	32

その他

■最大録画可能時間について	36
■トラブルシューティング	37
■仕様	39
■保証書	43

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

**必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する**

 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店までご依頼ください。(ヒューズ:2A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用すると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗りの妨げにならないように引き回す

 ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたリ固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- ❗ 煙がでる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ❗ あやまって、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ちに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ❗ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

DC12/24Vマイナスアース車で使用する。

- ⚠ DC12/24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。
- ※S1 Premiumは12V マイナスアース車のみ

分解や改造はしない

- ❗ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ❗ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがからないようにご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子⊖を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子⊖を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

- ❗ 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

- ❗ ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けけない

- ❗ 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になる事があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

- ❗ 強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

本機の通風孔を塞がない

- ❗ 本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

強い衝撃を与えない

- ❗ 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

- ❗ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

- ❗ 雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

感電の原因になるので、接触禁止

- ❗ 雷が鳴り出したら、シガーアダプターには触れないでください。感電の原因となる場合があります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。



注意

取付中はエンジンを切る



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行付けると、感電及び故障の原因になります。

磁性性があるものに近づけない



本機の近くに磁性性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさに変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源が無いなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります



LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

microSDカードの保存容量超えに注意する



緊急録画で記録された動画は上書き保存されません。ファイルが増えるとmicroSDカードの保存容量を超え、録画ができなくなることがあります。必要に応じてファイルを削除してください。

商品構成一覧表

設置および接続する前に、必ず以下の同梱物を確認してください。



S1 Premium(純正ミラー交換タイプ)

- ・本体
- ・電源コード 2.5m
- ・リアカメラ
- ・リアカメラケーブル 8.5m
- ・GPSアンテナ 2.0m
- ・専用ブラケット一式
- ・配線カバー
- ・汎用アダプター
- ・プライマー



H1 Premium(純正ミラー被せるタイプ)

- ・本体
- ・シガーライター 3.3m
- ・リアカメラ
- ・リアカメラケーブル 10.0m
- ・GPSアンテナ 2.0m
- ・純正ミラー固定用ベルト

商品構成一覧表(つづき)



使用上のご注意

シガーアダプターについて H1 Premium

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることや電力不足により正常に動作しない場合があります。
- シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になることがあります。また、エンジン始動時やアイドリングストップ時、電圧不安定による再起動を繰り返す場合があります。

電源コード S1 Premium

- 付属の電源コードは車のヒューズボックスに直接接続してください。ヒューズの形状が合わない場合は車に合わせたヒューズに交換するか、カットして接続してください。その時分岐した電源線に接続したり、ナビ、オーディオ電源に接続した場合は電力不足やノイズの影響を受ける場合があります。

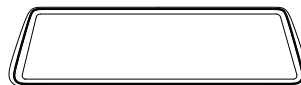
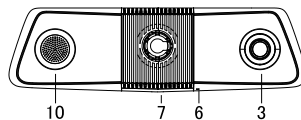
本機の日付と時刻について

本機の日付と時刻は「GPS日時同期設定」がオンの場合、GPSを受信すると自動で設定されます。本機の日付と時刻は動画ファイルの表示画面に記録されます。

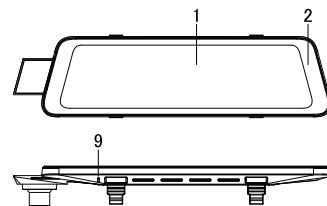
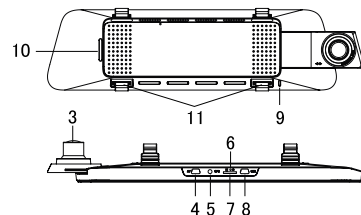
- ※GPS日時同期設定についてはP30「設定メニュー画面」をご参照ください。
- ※GPSを受信できない環境に長時間保管された場合、時刻にずれが生じることがあります。

各部の名称と働き

S1 Premium(純正ミラー交換タイプ)



H1 Premium(純正ミラー被せるタイプ)



1 液晶モニター

ご注意：
工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

2 ルームミラー

この部分には画面は表示されません。
※タッチしても液晶画面は反応しません。

3 カメラレンズ

ご注意：
工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

4 リアカメラ接続 miniUSB ポート

付属のリアカメラ接続ケーブルを使用して、本体とリアカメラを接続します。

各部の名称と働き(つづき)

5 GPSユニット接続ポート

付属のGPSユニットを接続します。

6 リセットスイッチ

リセットスイッチを押すと、本機が再起動します。

ご注意：
本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

7 microSDカードスロット

microSDカードを挿入します。

8 電源ケーブル接続miniUSBポート

付属のシガーアダプターを接続します。

ご注意： H1 Premium
本機付属のシガーアダプター以外は絶対に接続しないでください。
正常に動作しなくなったり、故障する可能性があります。

9 マイク

周囲の音声を録音します。

10 スピーカー

操作音やファイル再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

11 取付固定具

純正ルームミラーに取り付ける際使用します。

12 ブラケットベース

取り付けについて

取り付けのご注意：

本機を車に取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車に取り付ける際には、運転の支障となる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面には衝撃を与えないでください、破損でけがの原因になります。
- 同梱品のシガーアダプター以外のものを使用しないでください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガーアダプターが濡れないようにご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内にに取り付けてください。降雨時などに、鮮明に記録できません。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

取り付けかた(参考)

取付方法 (H1 Premium) 被せるタイプ

1. 固定用バンドを取り付け固定具の上側に引っ掛けます。(図1)
2. 純正ルームミラーを挟み込んで、固定用バンドを取付固定具の下側に引っ掛けます(図2)
※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。
3. もう一つの固定用バンドも同じ方法で取り付けて、本体の位置を調整します。
※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。
4. 純正ルームミラーとカメラが干渉する場合はカメラを外側にスライドさせて取り付けてください。
5. 本機が確実に装着されていることを確認のえ、使用してください。(図4)

取付方法 (S1 Premium) 交換タイプ

1. 純正ミラーを取り外してください。ネジで固定されている場合はネジを緩め取り外し
ネジがない場合は内張り外し等で浮かしながらルーフ側にスライドし取り外してください。
2. P12図を参考に専用ブラケットを取り付けてください。
3. フロントガラスのベース金具に合わせて本製品を取り付けてください。
4. フロントガラスのベース金具に合わない場合は付属の汎用アダプターを使用し取り付けてください。
汎用アダプターを使用する場合は、貼り付け部分をしっかり脱脂し、汎用アダプターのハクリ紙をはがし、両面テープに付属のプライマーを塗布しガラスに貼り付けてください。

取り付けについて(つづき)

H1 Premium 被せるタイプ



図1



図2

※本製品を取り付ける事により、純正ミラーの重量が増すため、ミラーが下向きになる場合がございます。これは純正ミラーの構造や個体差により、同じ車でもなる車、ならない車がございます。この症状による返品、交換はお受けしておりませんので予めご了承ください。

取り付けイメージ



図3

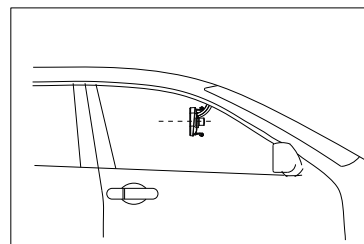


図4

- 車両進行方向にカメラを向けて取り付けてください。
- 本体が水平を維持するように取り付けてください。
- 水平が維持できないと、正しい状態で録画できません。
フロントカメラ角度を微調整する場合は、カメラを上下左右、回転(約15°)させて調整してください。
(カメラは硬めに固定されております)
- 本機のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。事故などの原因になります。
- 前方の視界を遮ることがないように取り付けてください。

取り付けについて(つづき)

S1 Premium 交換タイプ ※写真のブラケット形状は現品となります



1. GPSコードをブラケットの途中まで通してください。



2. 次に電源コードをブラケットの途中まで通してください。



3. ブラケットの途中まで通したGPS電源コードを先端まで「1/2」の手順で通してください。



4. 配線を全て通した後、カバーを取り付けてください。

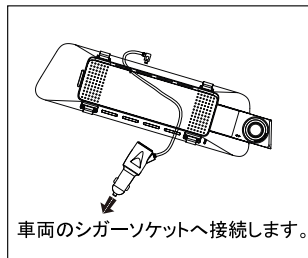
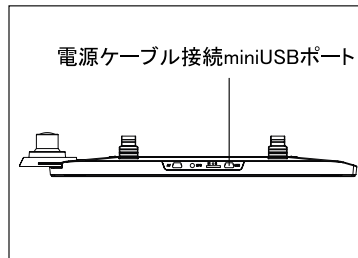


5. ミラー本体と専用ブラケットを付属のネジで固定し純正ミラーを取り外した台座に付けます。この時、純正ミラーの台座に装着できない場合は、付属の汎用アダプターの両面テープにプライマーを塗り乾燥させた後、フロントガラスに貼り付け圧着してください。圧着後24時間経過してから本製品を取り付けてください。

取り付けについて(つづき)

電源ケーブルの接続

H1 Premium 被せるタイプ



1. エンジンがオフになっていることを確認してから、同梱のシガーアダプターを車両のシガーソケットと、本体の電源ケーブル接続miniUSBポートにそれぞれ接続します。

ご注意

- シガーアダプターは必ず付属品をお使いください。付属品以外のシガーアダプターを使用した場合、本製品もしくは車両が破損する場合があります。
- シガーライター使用直後は電源端子が高温になっています。そのままシガーアダプターを接続すると先端が溶断・ショートする可能性がありますので、しばらく時間をおいて熱が冷めた状態でシガーアダプターを接続してください。
- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。

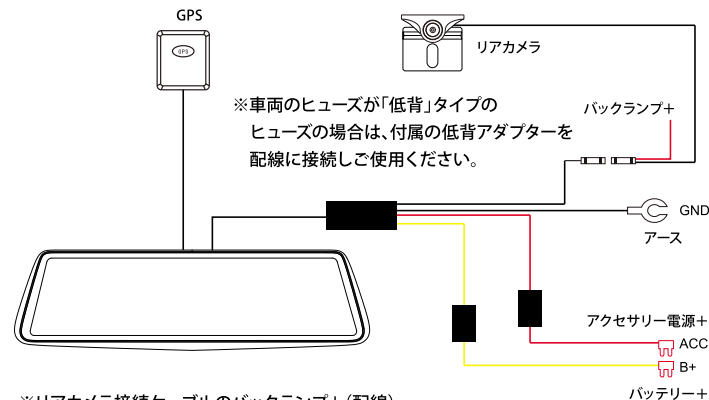
リアカメラの取り付けと配線



取り付けについて(つづき)

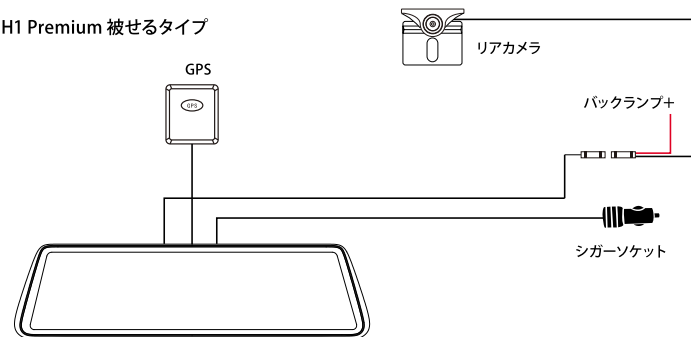
電源ケーブルの接続

S1 Premium 交換タイプ



※リアカメラ接続ケーブルのバックランプ+ (配線) を接続することでバック運動のガイドライン表示が可能です (任意)

H1 Premium 被せるタイプ

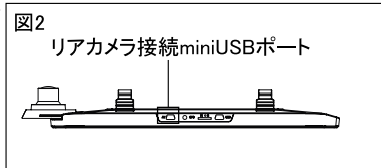


取り付けについて(つづき)

1. [図1]リアカメラ取り付けステーをリアカメラに取り付け、レンズの角度を調整後、貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後に、両面テープでしっかりと後部ガラスまたはバックドアに貼り付けます。
※必ず実際の映像を確認してから、後部ガラスに貼り付けてください。
2. [図2]バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線をおこなってください。
※リアカメラおよびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因となることがあります。

リアカメラの接続

H1 Premium 被せるタイプ



1. [図1]付属のリアカメラ接続ケーブルをリアカメラのmicroUSBポートに接続します。
2. [図2]付属のリアカメラ接続ケーブルを本機のリアカメラ接続miniUSBポートに接続します。
※リアカメラ接続ケーブルの差し込み側を間違えると、本機がリアカメラを認識することができません。必ずリアカメラ接続ケーブルの警告シールを確認し、正しく接続してください。

ご注意

- 安全に運転するために、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。
- 取り付け位置によって、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。
- リアカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまになっていないことを確認してください。
- 電子機器の性質上、車両のラジオアンテナやテレビアンテナ、その他電子機器の近くに設置すると、電波干渉が起きる場合があります。車両アンテナやその他の電子機器とは離れた場所に設置してください。
- プライバシーガラス装着者やスモークフィルム装着者は後部ガラスにリアカメラを装着すると画像が暗くなります。その場合は、バックドアトランクなどの外装に取り付けてください。

microSDカードについて

ご注意

microSDカードを使う前に、次の内容を確認してご使用してください。

- 本機にはmicroSDカードは付属しておりません。下記の注意事項をご確認の上で用意ください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガーアダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- フォーマット作業によるmicroSDカードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業によるmicroSDカードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- microSDカードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 本機は、8GB～128GB Class10 またはUHS-1 (読み書き時のデータ転送速度が最低10MB/秒) 以上のmicroSDカードに対応しています。
ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
また、UHS-IIIの製品は対応していませんので、microSDカードのご購入に際しては互換性にご注意ください。



←スピードクラス
←UHSスピードクラス

- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- microSDカードの定期的なフォーマットをおすすめします。フォーマットしないと、正しく録画ができない場合があります。※推奨1ヶ月

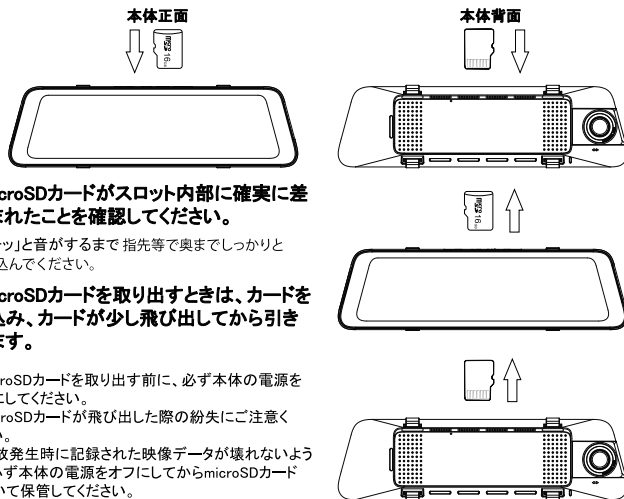
microSDカードの挿入と取り出し

1. microSDカードを挿入/取り出しする前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

※本機動作中、microSDカードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

microSDカードについて(つづき)

2. microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。(画像は H1 Premiumにて説明しています)



microSDカードのフォーマット

microSDカードをフォーマットするには下記の手順が必要です。

※microSDカードをフォーマットする前に、重要なデータをバックアップしてください。

① microSDカードが挿入されていることを確認してください。

②車のエンジンをオン(ACC ON)して、本体を起動します。

※電源オンについてはP19「電源オン/オフについて」を参照してください。

microSDカードについて(つづき)

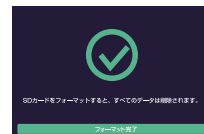
③設定メニューを表示します。

「」録画アイコンをタッチして録画を停止し、「」設定アイコンをタッチすると設定メニュー画面が表示されます。



④フォーマットを実行します。

「メモリカード」をタッチして、SDカード容量画面を表示します。「フォーマット」ボタンをタッチすると、SDカード初期化の確認画面に入ります。「フォーマット」を選択すると、SDカードをフォーマットします。



⑤フォーマット完了後は右の画面が表示されます。

ご注意

初めて本機を使用する場合、ご使用前にmicroSDカードのフォーマットをおこなってください。

- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定され、車両が停止している状態でおこなってください。
- フォーマット中は本機の電源を切らないよう、ご注意ください。

電源オン/オフについて

電源オン

エンジンをかける(ACCオンする)と自動的に電源オンになり、オープニング画面が表示されます。

電源オフ

エンジンを切る(ACCオフする)と自動的に電源オフになります。

ご注意

＜エンジン連動ON機能について＞
本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン連動で起動しない場合があります。その場合、電源を一度外してから、再度接続して電源を入れるようにしてください。
また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかった場合は、通電をおこない、充電をするようお願いいたします。

＜アイドリングストップ車で電源オフについて＞
アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がオフになる場合があります。
その場合、電源を一度外してから、再度接続して電源を入れるようにしてください。

録画について

録画の種類

●常時録画(ループ録画)

本機の設定により、1分間/2分間/3分間のループで録画します。
microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	1ファイル	録画継続…
-------	-------	-------	-------	-------	-------

※重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをおすすめします。
※常時録画(ループ録画)時間の設定方法については、P 30-31「設定メニュー画面」を参照してください。
※最大録画可能時間についてはP36「最大録画可能時間について」を参照してください。

●緊急録画

(1)緊急録画とは

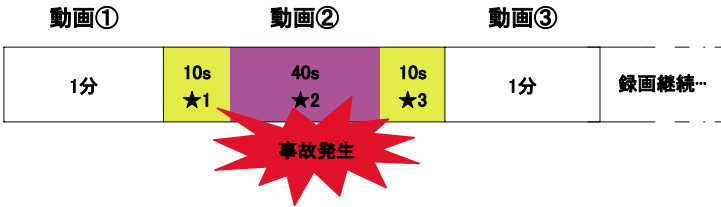
録画中、[]ボタンをタッチまたは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画を開始します。緊急録画中は、録画中アイコンは黄色になります。
緊急録画で保存されたファイルはロックされ、上書きされません。

(2)緊急録画形式

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

(例)

※ループ録画設定を「1分間」に設定時、動画①→②→③…と録画し続けます。
※動画②の時に事故が発生して、Gセンサーが衝撃を感知した場合、緊急録画が開始します。
※★は緊急録画の開始時点。



録画について(つづき)

★1: 動画②の最初から10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。

★2: 動画②の最初・最後10秒以外に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。

★3: 動画②の最後10秒以内に事故が発生し、緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

(3)緊急録画終了時

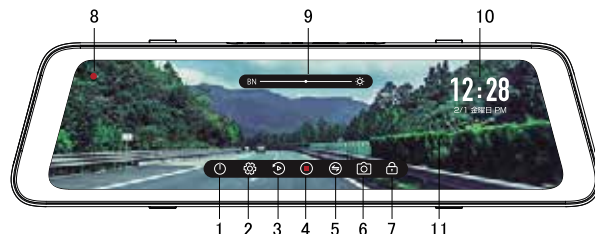
緊急録画完了後、録画中アイコンは黄色から赤色になり、常時録画(ループ録画)に戻ります。

ご注意

- Gセンサー感度が「高」に設定されている場合、衝撃が検出しやすくなります。
Gセンサー感度が「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
※Gセンサー感度の設定方法については、P 30-31「設定メニュー画面」を参照してください。
- Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像や、ファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、上書きされません。
ロックされたファイルが増えると、緊急録画ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。
※ファイルの保存先や削除方法についてはP 24-26「再生モード」を参照してください。
- 振動が大きい車両、ローダウン車、マフラー交換した車両は緊急録画が頻繁に行われますのでOFFに設定してください。

動画記録モード

動画記録モード



本機を約10秒間操作しないと、操作メニューは非表示となり、録画モードに戻ります。
操作メニューを表示させたい場合は、画面をタッチします。

- 1 ホームボタン
このアイコンをタッチすると、速度や車線を表示している走行モード(P27参照)に切り替わります。
3秒間長押しすると、通常のミラーモードに切り替わります。
※スクリーンを再びタッチすると、元のモードに戻ります。
- 2 設定メニューアイコン
このアイコンをタッチすると、設定メニュー画面に入ります。
※設定メニュー画面に入るには録画を停止する必要があります。
- 3 再生モードアイコン
このアイコンをタッチすると、再生モード画面に入ります。
※再生モード画面に入るには録画を停止する必要があります。
- 4 録画アイコン
このアイコンをタッチすると、録画を開始／停止します。
※安全のために、車速が 15km/h 以上の場合、このボタンの操作は無効になり、録画を継続します。
- 5 画面切り替えアイコン
このアイコンをタッチすると、リアカメラの画面とフロントカメラの画面を切り替えます。
※工場出荷設定：本機を起動すると、初期設定はリアカメラの画面を表示します。
※安全のために、車速が 15km/h 以上の場合、このボタンの操作は無効になり、リアカメラの画面を表示します。
- 6 静止画撮影アイコン
このアイコンをタッチすると、静止画を撮影します。
※フロントとリアの映像が同時に撮影されます。
- 7 ロックアイコン
このアイコンをタッチすると、録画しているファイルを手動でロックします。

動画記録モード(つづき)

8 録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。緊急録画中の場合、アイコンは黄色になります。
※録画が停止している場合には、アイコンは表示されません。

9 明るさ設定アイコン

明るさ設定を「手動」に設定している場合、液晶画面を左右にフリック操作すると、画面の明るさを調整できます。また、「」ボタンをタッチして、明るさの設定を自動／手動に切り替えることができます。明るさ設定を「自動」に設定すると、周囲の明るさに応じて自動で画面の明るさを調整します。

10 日時表示 時計表示を長押しすると時計表示が消えます。再度押すと時計が表示されます。

本機の日付・時刻を表示します。

画面表示の上下調整

液晶画面で上下フリックすると、表示画面のエリアを調整します。

静止画を撮影する

「」アイコンをタッチすると、フロントカメラとリアカメラの映像が同時に撮影されます。

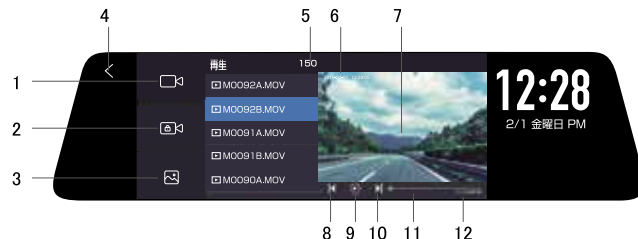
●フロントカメラの静止画解像度は「1536×864」で保存されます。

●リアカメラの静止画解像度は「1536×864」で保存されます。

●録画中に静止画を撮影しても録画は中断されません。

再生モード

録画停止状態で、「」アイコンをタッチすると、再生モードを表示します。



1 常時録画

このアイコンをタッチすると、常時録画(ループ録画)のファイルを表示します。

2 緊急録画

このアイコンをタッチすると、緊急録画のファイルを表示します。

3 静止画

このアイコンをタッチすると、静止画のリストを表示します。

4 戻る

このアイコンをタッチすると、常時録画(ループ録画)モードに戻ります。

5 ファイル数表示

選択されているフォルダーにあるファイルの数量を表示します。

6 撮影日時表示

動画もしくは静止画が撮影された日付と時刻を表示します。

7 サムネイル画面

8 前へ

前のファイルを表示します。

9 再生／一時停止

ファイル再生／一時停止します。

10 次へ

次のファイルを表示します。

11 再生バー

再生経過時間を表示します。

12 時間表示

ファイルの経過時間／トータル時間を表示します。

再生モード(つづき)

常時録画ファイルの保護と削除

ファイル名を長押しすると、「保護」と「削除」アイコンが表示されます。



「保護」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイル名を「S～.MOV」に変更し、保護ファイルとなります。

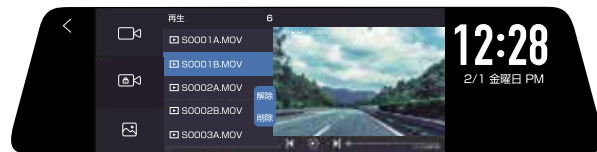


「削除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイルが削除されます。



緊急録画ファイルのロック解除と削除

ファイル名を長押しすると、「解除」と「削除」アイコンが表示されます。



「解除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイル名を「M～.MOV」に変更し、通常ファイルとなります。



「削除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイルが削除されます。



再生モード(つづき)

静止画ファイルの削除

ファイル名を長押しすると、「削除」アイコンが表示されます。



「削除」をタッチすると、右のような画面が表示されます。
「OK」をタッチすると、ファイルが削除されます。



ファイル表記について

●常時録画

MxxxxA.MOV A:フロントカメラで記録したファイル
MxxxxB.MOV B:リアカメラで記録したファイル

●緊急録画

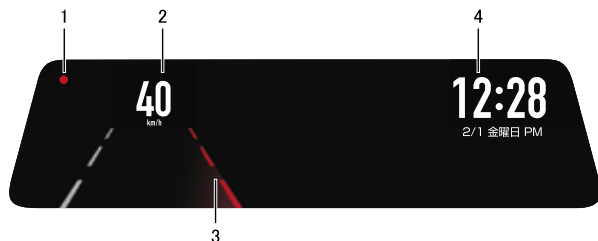
SxxxxA.MOV A:フロントカメラで記録したファイル
SxxxxB.MOV B:リアカメラで記録したファイル

●静止画

DxxxxA.JPG A:フロントカメラで記録したファイル
DxxxxB.JPG B:リアカメラで記録したファイル

走行モード

「」ボタンをタッチすると、走行モード画面を表示します。



1 録画中アイコン

録画中は赤いアイコンが点滅します。緊急録画中の場合、アイコンは黄色になります。
※録画が停止している場合には、アイコンは表示されません。

2 速度表示

車両の走行速度を表示します。

3 車線表示

車線逸脱防止支援システム(LDWS)がオンに設定されている場合、
車線を逸脱した時に赤色に表示されます。

4 日時表示

本機の日付・時刻を表示します。

ご注意

- 走行位置情報や車速情報はGPSによって取得される情報です。GPS信号が受信されていない場合は表示することができません。また、表示される情報は実際の位置や速度と異なる場合があります。

車線逸脱防止支援システム(LDWS)について

本機は車線逸脱防止支援システムを搭載しています。

設定メニューの「車線逸脱防止支援システム」がオンになっている場合、速度40km/h以上で走行中、車線を逸脱した時にアラーム通知をおこないます。また、走行モード画面時に車線を逸脱した場合、アラーム通知に加えて車線表示が赤色に表示されます。

ご注意

- カメラ映像に基づき動作しますので、映像の状況により誤動作または動作しない場合があります。
- 車線の劣化や雨天や逆光などにより車線を認識できず正しく動作しない場合があります。
- 車両のウィンカーと連動しませんので、通常の車線変更でもアラーム通知をおこないます。
- 路面の状態や走行状況により、機能が動作しないことや頻繁にアラーム通知がおこなわれる場合があります。
- 夜間や悪天候時には、機能が動作しないことや頻繁にアラーム通知がおこなわれる場合があります。
- 車線逸脱防止支援システムの動作はあくまで目安ですので、実際の道路状況にしたがって走行してください。
- 車線逸脱防止支援システムを使用したことによる事故等に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。

駐車監視録画について

駐車監視録画をおこなうには、設定メニューの「駐車監視」を低/高のいずれかに設定してください。

衝撃検知録画(本機内蔵バッテリーにて動作)

車両エンジンを停止(ACCオフ)すると、約5秒後に本機の電源がオフになります。
本機の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になり、本機に搭載されたGセンサーが衝撃を検知すると、自動的に約10秒間の緊急録画をおこない、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。
車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本機の電源がオンになり、常時録画が開始されます。



ご注意

- 「駐車監視」をオフに設定すると、衝撃検知録画スタンバイ状態に移行されません。駐車監視の設定についてはP30～31「設定メニュー画面」を参照してください。
- 衝撃検知録画は本機の内蔵バッテリーによって動作します。内蔵バッテリーの状態によって衝撃検知録画が稼働できる時間は異なります。
- 衝撃検知録画で撮影された映像ファイルはロックされ、上書きされません。
- ドアを開めたときの振動を検出して、衝撃検知録画が動作することがあります。
- 衝撃検知録画スタンバイ状態および、衝撃検知録画中は本機の液晶画面は表示されません。(液晶オフ)
- 常時電源ケーブルを接続した場合、衝撃検知による駐車監視録画をおこなうことはできません。
- リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

設定メニュー画面(つづき)

項目	設定内容と説明		
メモリーカード		挿入されているSDカードの空き容量と全体容量情報を表示します。	
	フォーマット	「フォーマット」ボタンをタッチすると、SDカード初期化の確認画面に入ります。確認すると、SDカードをフォーマットします。※SDカードをフォーマットする前に、重要なデータをPC等でバックアップしてください。	
LDWS	オフ(▲) オン	車線逸脱防止支援システムのオン/オフ設定をします。オンに設定すると、走行モードで車線を逸脱すると、車線表示が赤く表示されます。	
スピード表示単位	mph km/h(▲)	速度表示の単位を設定します。	
液晶表示	液晶オフ	30秒経過すると自動的に液晶をオフにします。	
	走行モード	スピードメーターと車線のみを表示する画面です。	
	カメラ画像(▲)	リアカメラ映像またはフロントカメラ映像を表示する画像です。	
方位表示	オフ(▲) オン	画面左下にコンパスを表示します。	
	GPS 時計	オフ オン(▲)	GPSの日時情報を取得し、日付/時間を自動的に設定します。オンに設定した場合、日付/時間設定を手動でおこなうことはできません。※工場出荷設定値に戻した場合でも、日付/時間はリセットされません。
日付設定 YYYY-MM-DD		OK/キャンセル	※GPS時間校正がオフの場合のみ、手動設定できません。画面をフリックして設定します。「OK」をタッチすると、設定を保存します。「キャンセル」をタッチすると、設定を保存せずに前の画面へ戻ります。
		時間設定 HH:MM	OK/キャンセル
24時間表示		オフ オン(▲)	時間表示を「12時間モード」で表示します。 時間表示を「24時間モード」で表示します。
録画解像度	Front 1080P + Rear 1080P	録画ファイルの解像度はフロント、リア共に1080Pとなります。	
ループ録画	1分(▲) 2分 3分	常時録画(ループ録画)で記録される1ファイルごとの録画時間を設定します。	
	オフ LOW(▲) HIGH	Gセンサー(衝撃検知)の感度を設定します。 LOW：衝撃を検出しやすくなります。 HIGH：衝撃を検出しにくくなります。	
	オフ(▲) LOW HIGH	駐車監視モードのGセンサー(衝撃検知)の感度を設定します。 LOW：衝撃を検出しやすくなります。 HIGH：衝撃を検出しにくくなります。	
音量	オフ LOW HIGH(▲)	音量を設定します。 ※【音声ガイダンス】【ファイル再生音量】の音量が連動します。	

(▲)は工場設定値です。

設定メニュー画面(つづき)

項目	設定内容と説明	
操作音	オフ	操作音のオン、オフを設定します。
	オン(▲)	
輝度調整	手動	液晶画面の明るさを設定します。手動に設定した場合、動画記録モード画面で液晶画面を左右にフリック操作をして明るさを調整します。自動に設定した場合、周囲の明るさに応じて自動で液晶画面の明るさを調整します。
	自動(▲)	
録音	オフ	映像のみで音声は記録しません。
	オン(▲)	
リアカメラ映像	オフ	リアカメラの映像は正像で表示されます。
	オン(▲)	
表示言語	日本語(▲)	本機の表示言語を選択します。
	English	
GPS位置情報	経度/緯度 スピード/方向 GPSステータス	GPS情報を表示します。
	GPS受信感度	
バージョン	型番	本機の型番を表示します。
	バージョン	
設定をリセットする	OK/キャンセル	設定初期化の確認画面に入ります。OKをタッチすると、日付とGPS情報以外の設定項目を工場設定値に戻します。キャンセルをタッチすると、前の画面へ戻ります。 ※記録された動画ファイルや静止画ファイルは削除しません。

(▲)は工場設定値です。

※設定メニュー画面表示中に約30秒間操作がおこなわれない場合、設定メニュー画面が自動的にタイムアウトします。

ソフトウェアバージョンアップにより設定メニューおよび工場出荷値が変更になる場合があります。

PCビューワーについて

専用再生アプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で表示再生することができます。

PC動作環境

OS	WindowsXP/Windows7 /Windows 8/Windows10
CPU	Intel Core i5以降
メモリ	4GB以上
その他	インターネット接続環境が必要です。

- Macには対応していません
- すべてのOS・パソコンについて動作を保証するものではありません。
- お使いになるパソコンの処理能力や環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

ビューワースoftwareをインストールする

PCビューワーのインストールファイル「DVR Player V2.0.exe」は、本機の電源をオンにするとmicroSDカード内に自動的に生成されます。

下記の手順に従い、PCビューワースoftwareのインストールをおこなってください。



- 1.PCにmicroSDカードを挿入します。
「DVR Player V2.0.exe」をダブルクリックします。



- 2.「はい」をクリックします。

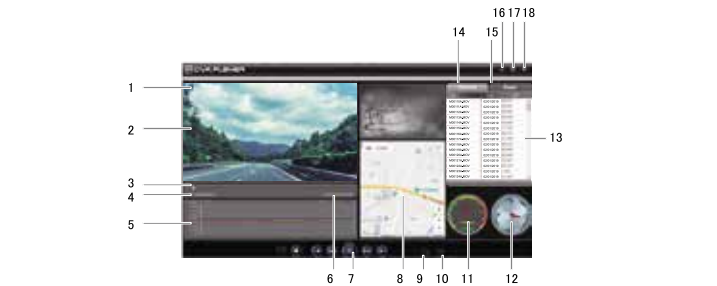


- 3.「Next」をクリックします。

PCビューワーについて(つづき)

PCビューワーについて(つづき)

画面の操作



ビューワースoftwareで映像ファイルを再生する

1. デスクトップ上のDVR Player  をダブルクリックしてビューワースoftwareを起動します。
2. DVR Player内の  をクリックし、microSDカード内の映像ファイルをファイルリストに追加します。
※映像ファイルはmicroSDカード内の「CARDV」フォルダに保存されています。

＜常時録画ファイル＞	＜緊急録画ファイル＞
 M0001A.MOV	 S0001A.MOV
 M0001B.MOV	 S0001B.MOV
 M0002A.MOV	 S0002A.MOV
 M0002B.MOV	 S0002B.MOV

3. ファイルリストから再生したい映像ファイルを選択し、ダブルクリックすると再生を開始します。
※ファイルの再生中は  をクリックすることはできません。

- 1 映像ファイルが撮影された日付と時刻を表示します。
- 2 再生画面をダブルクリックすると、全画面で再生します。
- 3 動画の再生位置を表示します。再生位置に応じて、地図の位置情報を更新します。
- 4 再生中のファイル名
- 5 映像ファイルに記録されたGセンサー情報を表示します。
- 6 再生経過時間／トータル時間
- 7 再生操作ボタン

	停止ボタン		再生／一時停止ボタン
	前へボタン		早送りボタン
	早戻しボタン		次へボタン

PCビューワーについて(つづき)

8 地図表示画面

映像ファイルに記録された車両の位置情報を地図画面に表示します。



- 1 通常の地図画面を表示します。地図上の地形図の表示・非表示を選択できます。工場出荷設定：非表示。
- 2 衛星地図画面を表示します。地図上に表示される地名の表示・非表示を選択できます。工場出荷設定：表示。
- 3 選択中のファイルの自車位置を表示します。
- 4 地図表示のスケールを拡大します。地図画面をダブルクリックすると、地図表示のスケールも拡大します。
- 5 地図表示のスケールを縮小します。

9 再生中の映像をキャプチャー保存することができます。

10 再生中の映像ファイルに名前を付けて保存することができます。

11 再生している映像ファイルの車両速度情報を表示します。
※録画中にトンネル等のGPS受信環境が悪い場所を走行していた場合、車両速度情報が表示されないことがあります。
※表示されている車両速度はあくまで目安です。実際の車両速度とは異なる場合があります。

12 再生している映像ファイルの方位情報を表示します。
※録画中にトンネル等のGPS受信環境が悪い場所を走行していた場合、方位情報が表示されないことがあります。

13 ファイルリストが表示されます。ファイルをダブルクリックすると、再生が開始されます。

14 常時録画ファイルリストを表示します。

15 緊急録画ファイルリストを表示します。

16 DVR Player画面を最小化します。

17 DVR Playerを全画面に表示します。全画面表示中に再生画面をダブルクリックすると、通常の再生画面に戻ります(この機能はファイル再生中のみ操作可能です)

18 DVR Playerを終了します。

最大録画可能時間について

microSD カード容量	最大録画可能時間
	1080P
8GB	約40分
16GB	約80分
32GB	約160分
64GB	約320分
128GB	約645分

※フロント＋リアカメラの場合。

※microSDカードのシステム領域は含まれません。

- 最大録画可能時間はあくまで目安の数字となり、録画環境などにより変動します。
- 最大録画可能時間は、常時録画と緊急録画を含めた録画時間の合計です。
※ファイル保存割当 常時録画・・・50% 緊急録画・・・50%
- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当の上限に達すると、緊急録画をおこなうことができなくなります。必要に応じてファイルを削除、あるいはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをおこなってください。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	●シガーアダプターまたは電源線の接続不良の可能性があります。	●シガーアダプターを一または電源線を一度外してから、再度接続し直してください。また、シガーライターや電源に確実に差し込まれているかを確認してください。
	●本機が使用できる温度環境ではない場合があります。	●本機は「-10℃～+60℃」温度環境下で使用できます。
誤動作をする	●本機のシステムが誤動作を起こしている場合があります。	●本機のリセットボタンを押してください。
録画したはずのファイルがない	●常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	●ファイルを残しておきたい場合は、定期的にバックアップすることをおすすめします。
液晶画面にドット抜けがある	●液晶パネルの特性です。不良ではありません。	—
録画できない	●microSDカードが本体に挿入されていますか？	●microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	●microSDカードの読み込みエラーが発生していませんか？	●microSDカードをフォーマットしてください。フォーマットしても改善されない場合は、別のmicroSDカードでお試ください。または、電源を切った状態でmicroSDカードの抜き差しを行ってください。
操作音や音声ガイダンスが鳴動しない	●本体音量がオフになっていませんか？	●設定メニューの「ボリューム」から設定を変更してください。
GPSが受信できない	●GPSユニットは接続されていますか？	●GPSユニットを本機に接続してください。
	●GPS電波が受信しづらい場所を走行していませんか？	●トンネル内やビルの谷間などはGPS電波を受信しづらい場合があります。
	●本機を起動したばかりではありませんか？	●本機を起動した直後はGPS電波を受信しづらい場合があります、しばらく経ってから再度確認してください。

トラブルシューティング(つづき)

症状	原因	対処方法
再起動する 場合がある	●エンジン始動直後やアイドリングストップ車の場合、バッテリーのコンディションによってアイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで電源が再起動する場合があります。	●車両の電圧を確認してください。
	●電源の分岐による電力不足のため再起動する場合があります。	●分岐せず十分な電気が供給される部分に接続してください。
信号機表示が消えてしまう		●本製品は、LED信号に対応した製品ですが、映像の記録周期とLED式信号機の周期によっては、一瞬信号機表示が消えて見える場合があります。また、逆光などの環境によっては信号機表示が確認できない場合があります。その場合は前後の記録映像や周囲の車両の状況から判断してください。 ●信号機表示が確認できないことによる事故やトラブルに關しまして、弊社は一切その責任を負いかねます。
緊急録画が頻繁におこなわれる	●Gセンサー感度の設定が適切ではない可能性があります。 ※振動が大きい車両、ローダウン車、マフラー交換した車両は緊急録画が頻繁に行われますのでOFFに設定してください。	●設定メニューの「Gセンサー」から設定を変更してください。
日時表示がずれている	●GPS時間校正がオフになっていませんか？	●設定メニューの「日付/時間」→「GPS時間校正」から設定を変更してください。
方位表示が正確に表示されない	●今いる場所の磁気の影響や他の電子機器の影響を受けて正確に表示しない場合があります。	—

仕様

本体仕様	
型番	S1 Premium(交換タイプ) / H1 Premium(被せるタイプ)
商品名	スマートルームミラー前後ドラレコ付
ディスプレイ	9.9インチ タッチパネルIPS液晶(静電式)
レンズ	207万画素カラーCMOS
カメラ画角	水平:118° 垂直:69° 対角:148°
フレームレート	27.5fps
録画ファイル単位	1分/2分/3分
動画解像度	FHD(1920×1080)
静止画解像度	1.3M(1536 X 864)
音声録音	オン/オフ設定可能
Gセンサー(衝撃検知)	オフ/低/高
駐車監視モード	衝撃検知録画 ※ バッテリーの電圧が低くなった場合、動作しない可能性があります。
動画ファイル	MOV
静止画ファイル	JPEG
映像外部入力	専用リアカメラ入力
使用電圧	DC12V/24V (S1 PremiumはDC12Vのみ)
消費電力	最大12W
内蔵バッテリー	500mAh (H1 Premium) S1 Premiumは車両バッテリー接続
本体寸法(mm)	272 (W) ×75 (H) ×18 (D) S1 Premiumは41 (D)
本体重量	約350g(H1 Premium) / 約430g (S1 Premium)
動作温度	-10℃～+60℃
保存温度	-20℃～+70℃

仕様(つづき)

リアカメラ仕様	
レンズ	207万画素カラー CMOS
カメラ画角	水平:112° 垂直:60° 対角:140°
フレームレート	25fps
動画解像度	FHD(1920×1080)
静止画解像度	1.3M(1536 X 864)
動画ファイル	MOV
静止画ファイル	JPEG
使用電圧	5V
消費電力	最大1W
本体寸法(mm)	59 (W) ×24 (H) ×31 (D)
本体重量	約70g
動作温度	-10℃～+60℃
保存温度	-20℃～+70℃
付属品	リアカメラ延長ケーブル

※紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げのオンラインショップにてご連絡ください。
※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※本製品で使用されている画像・イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。

